

# 市測協だより

(第38号)

広報部会

平成22年1月発行

社団法人 福岡市設計測量業協会

福岡市中央区薬院1丁目6番16号  
〒810-0022 百田興産ビル201号

TEL (092) 751-8246

FAX (092) 751-2271

<http://www.f-shisokukyo.or.jp>

E-mail: info@f-shisokukyo.or.jp

福岡市長

吉田 宏



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

貴協会の会員の皆様におかれましては、日頃より本市のまちづくりに多大なる貢献をいただき深く感謝いたします。

また、道路や建物などの社会資本の整備に欠くことのできない設計測量技術は、魅力あるまちづくりの円滑な推進に大きく寄与するものであり、技術向上に向けて永年にわたり技術研究や研修に取り組まれている貴協会の活動に深く敬意を表します。

さて、昨今の厳しい地域経済の状況をふまえ、平成20年10月28日に緊急経済対策本部を設置して以来、測量設計業務・工事の早期発注や最低制限価格の改定、代金支払い手続きの迅速化などに努め、経済・雇用対策を実施しております。

今回、これらの対策に加え、地場中小企業支援として経済対策特別資金の新規貸付枠を1,200億円から1,600億円に拡大し、また、12月補正予算においても、国の経済危機対策に伴う公共事業の追加などに関する補正予算を計上いたしました。

以上により本市の経済・雇用対策事業は186億円となりましたが、今後とも生活道路の整備や公園の再整備など、生活に密着し暮らしを豊かにする公共事業につきましては、切れ目ない予算計上と迅速な事業執行に取り組み、地域経済を下支えする地場企業の皆様の受注機会の確保にも十分配慮してまいります。

最後になりましたが、福岡市設計測量業協会の会員の皆様には、本市のさらなる発展のために、なお一層のご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げますとともに、貴協会のますますのご発展と会員の皆様方のご健勝を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

[写真: 百道浜]

社団法人 福岡市設計測量業協会(市測協)会員はふくおかを愛し、ふくおかの発展に全力をつくします。

## 謹賀新年



### 社団法人 福岡市設計測量業協会 会 長 長谷川 敏 治



平成22年という新しい年を迎え、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。  
わが国では、本格的な人口減少・高齢化社会の到来、地球問題の深刻化などの諸問題に加え、一昨年の「サブプライムローン問題」が発端となった世界的規模の金融資本市場危機の影響により、今なお続く景気後退局面が先行き不透明感の度合いをより一層深くしています。

昨年8月には、総選挙が行われ政権交代が実現しました。いわゆる「55年体制」が終わり、新政権は「コンクリートから人へ」をスローガンとしていて、これまで進めてきた社会資本整備(公共投資)のあり方が大きく問われようとしています。受注の大半を公共事業に依存している我々業種の事業量は大きく削減されるのではないかと危惧しております。

一方、九州北部地方では、昨年7月末の豪雨で「中国・九州北部豪雨災害」が発生し、福岡市内においても多大な被害を受けました。当協会では担当理事や会員の皆様において災害復旧支援に対して、迅速な対応など活躍していただき、本当に感謝しております。

今後もこれらの教訓のもと、協会として、地域のための防災活動やボランティア活動などに積極的に取り組む所存でございます。そのためには、協会が一致団結し、地元企業の優位性を大いに発揮することで先行き不透明感を少しでも緩和していくことが最善策ではないかと考えております。

今年もまだまだ厳しい環境が続くと思われませんが、希望を持って前進されることをお祈りいたしまして、新年のご挨拶といたします。

### 理事会報告

- 8月 4日 ~ 5日 ・福岡市へのPR活動実施
- 8月21日 ・福岡市へのPR活動報告  
・福岡市災害支援状況報告  
・正会員の入会承認  
・経営者研修会について
- 9月30日 ・福岡市災害査定経過報告  
・地場大手企業入会推進について  
・経営者研修会アンケートについて  
・福岡市との意見交換会について

- 10月28日 ・平成21年度中間事業報告  
・地場大手企業入会推進について  
・正会員の入会承認  
・経営者研修会について  
・福岡市との意見交換会について
- 12月14日 ・福岡市との意見交換会報告  
・福岡市へのPR活動日程について  
・市測協だより第38号について



## 平成21年度経営者研修会

10月30日、佐賀市の龍登園において、平成21年度経営者研修会を開催した。

初秋の佐賀平野を流れる川上峡を眼下に見渡しながらのひとときは、日頃の激務を離れ、心と体を癒し明日への英気を養ったことでしょう。

今回の研修会では、市測協会員の給与実態調査を行った結果を福岡県の賃金事情(福岡県福祉労働部調査)と比較し、ビジュアル化して報告を行った。

経営者研修会での資料は給与が他産業に比べ、高いとか安いとかいう問題ではなく、各企業が持続的な発展と、各社の社員にとって将来性のある働きがいのある職場として活力を維持、向上させ、心にゆとりある生活を実現するために、労務管理の面において、時代に即した労働条件の整備に役立てていきたいと思えます。

[経営者研修会を終えて]

ここ数年の我々の所属する業界を振り返ると、バブル崩壊により一気に縮小し厳しい状態に立たされていた。この状況が更に、私たちの糧である設計、測量の業務は小泉改革により毎年削減され、各企業とも青息吐息の状態が続き、各社は業務の縮小を余儀なくされ、会社の体力が落ちギリギリの状態となった。しかしながら、この社会情勢を受け入れ、頑張らなければならないと各社それぞれに努力を重ねていたところに、昨年の原油・原材料の高騰や米国に端を発するリーマンショックで金融システムの大混乱に伴い、世界経済に急ブレーキが掛かり大幅な減速となり、我が国の経済も予断を許さない状況となった。

当時の麻生政権は緊急経済対策を行うため補正予算を国会に通過させ、我々に関連のある公共事業の発注があるかと思いきや、それもつかの間の出来事で、政権交代が行われ事業仕分けという美名の基で数々の事業が削減される方向となった。ボクシングで言えば、ボディブローで弱った所へ強烈なフックを食らい、更にはストレートをもとに顔面に叩き込まれた状態でKO負け必死である。

しかし、我々市測協の会員は決して負けられません。なにがあっても勝たなければなりません。そこで何をすべきか？その明快な答えはありませんが、受注を減らさない事は重要な要素の一つであります。その為には市測協会員が一丸となり、行政に強くアピールすることが肝要と考えます。



▲ 資料を発表する総務部会の木村理事



## 第29回ボウリング大会

11月20日、早良区の西新パレスボウルにて第29回ボウリング大会を開催した。各チーム3~4人の混合戦で、11チームが2ゲームのスコアの得点を競い、新人を投入した九州コンサルタント(株)が昨年の三位から優勝に返り咲いた。

ゲーム終了後、優勝から敢闘賞まですべての参加者にそれぞれに賞品が贈られ、名前が呼ばれるたびに拍手が起こり和やかに会員の親交を深めた。

団体成績		得点	アベレージ
優勝	九州コンサルタント(株)	1,223点	152.8点
準優勝	(株)西部技術コンサルタント Bチーム	1,188点	148.5点
第三位	太洋建設コンサルタント(株)	1,078点	134.7点

個人成績		得点	アベレージ
優勝	大秋 潤(九州コンサルタント(株))	390点	195点



▲ 優勝：九州コンサルタント(株)



## 地積測量図の作成について

不動産登記法(以下『不登法』と称す)は、不動産取引の安全と円滑を図る事を目的とした制度です。

表示に関する登記の特則は原則として所有者に登記の申請義務を課しています。この事は他人依頼する事なく本人申請で登記事務手続きができるようにしたものです。よって誰でも測量し地積測量図を作成する事は可能です。

不登法上に「地積測量図の作成者は土地家屋調査士が作成したものではないといけない」との資格についての規定はありません。

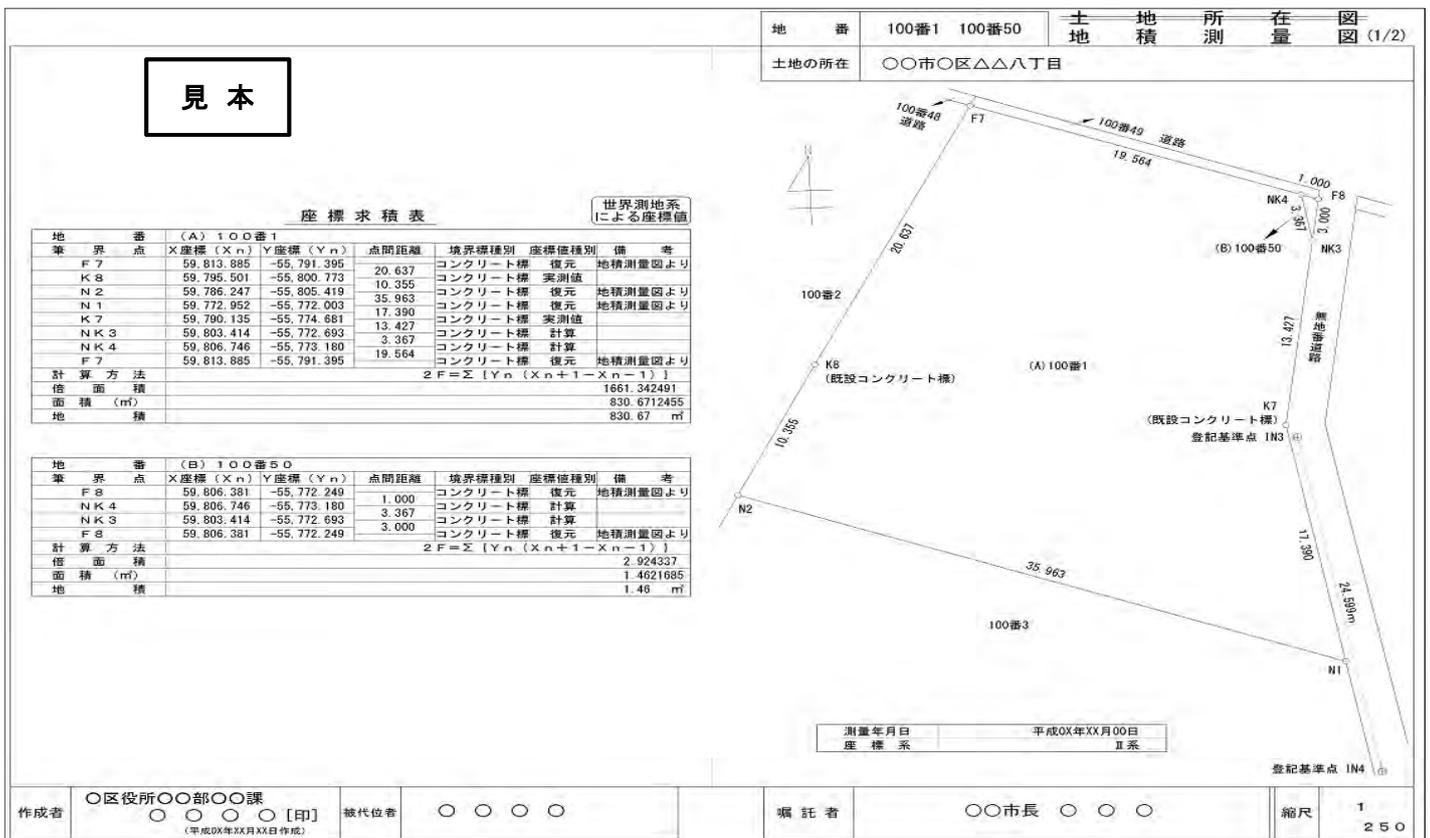
土地家屋調査士が地積測量図を作成し署名捺印できる場合は、他人から不動産の表示に関する登記について必要な土地に関する調査又は測量の依頼を受けた場合です。

昭和61.9.29民三.7271法務省民事局長回答によると『地積測量図の作成者として署名捺印すべき者は、その図面に表示された土地について実際に調査、測量した者(官公署の職員であると、私人であるとを問わない)』とされています。

公共測量と位置づけられている用地測量の成果は、資料調査、その分析解析、境界確認、境界測量、境界点間測量、面積計算、図面作成の工程で適正な手続きで調整された高精度・高品質のものであります。不登法で地積測量図に求められている要件は十分に満たしております。

また、官公署等が行う囑託登記手続きは本人申請であり、測量士が地積測量図作成に関与する場合は補助的立場で行なうにすぎず、用地測量を実施した測量士がその成果に基づいて地積測量図を作成しても、業としない限り土地家屋調査士法に抵触するものではないと思います。

用地測量に係る成果の一部を地積測量図の作成に活用する事は、測量の重複排除を目的とする測量法の趣旨から合法的であり、国民の財産の保全、土地に関する登記業務執行の適正化に寄与するものであります。



▲ 地積測量図

- ◎ 測量部会では、福岡市や非協会会員から、測量に関して疑問や講習課題などを募集しております。メール・FAXでご意見をお寄せ下さい。当協会の専門委員会(GIS・地籍測量・基準点測量・用地測量研究会)が対応します。出前講座も可能です。
- ◎ 年2回の技術講習会開催には、会員・非会員を問わず参加を募集しております。

## 自然災害と九州北部豪雨の災害支援報告について

地球温暖化に伴う異常気象と思われる自然災害が、世界各国で頻繁に続出している。

例えば、米国におけるハリケーン・トルネード、極東地域においては、台風・竜巻・集中豪雨等の大規模化と発生の回数が増している感じがするのは私だけでしょうか。

しかも我が国は火山帯の上に成り立っている為、自然災害としての発生頻度は、世界有数であり社会基本整備は未だ道半ばである。

しかしながら、現在の日本の状況を振り返ってみると、少子高齢化と景気回復の遅延等による税財源の減少が明らかであり、我々公共事業に頼る企業にとっては、まさに土砂降り状態にあります。

一方政府は、コンクリートから人への政策の転換の兆しもありますが、一定の社会資本整備は社会投資として必要であり、とりわけ地方都市の既成市街地においては、まだ未完成である。

こうした状況にあって、福岡市設計測量業協会は最少のコストで最大の効果のある提案や、要望を積極的に行うべきだと思います。その一環として街区基準点の所在確認を福岡市全域に亘り行った。そして更に災害支援においても組織を編成し、福岡市当局へ提出しております。

### 福岡市災害支援報告

平成21年7月24日～7月26日にかけて発生した九州北部豪雨により、8月6日、福岡市より当協会に災害調査の依頼がありました。

災害調査内容、協会対応は、下記のとおりです。

#### ■第一次緊急災害調査 14件

協会対応： 災害調査依頼当日、災害調査支援可能な会員を招集し、測量会社、設計会社から各1社を1組にし、5組を選出、翌日から災害調査業務に着手しました。

#### ■第二次緊急災害調査 17件

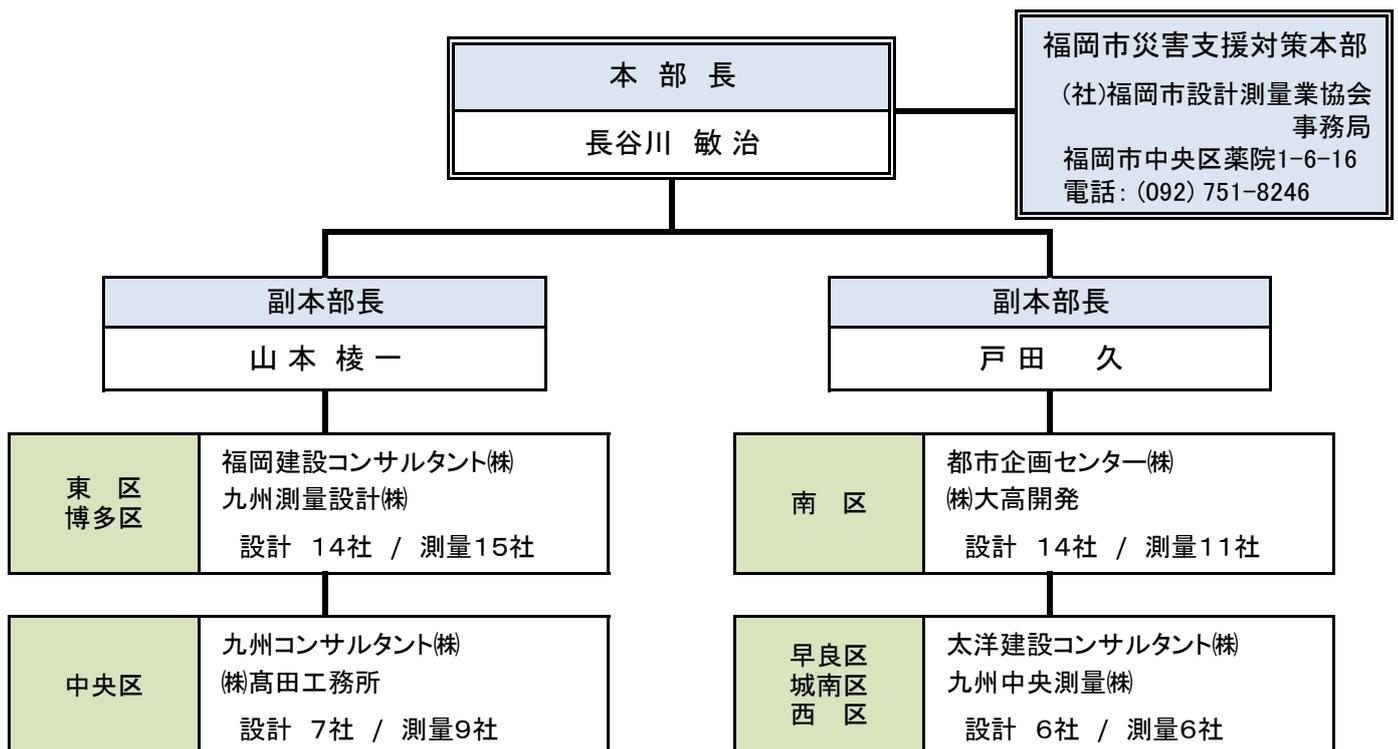
協会対応： 福岡市からの依頼日に応じて、その都度会員の招集を行い上記と同様に調査体制をとり、業務の対応を行いました。

今回の災害調査依頼に際して、協会員の皆様方が協力して迅速に行動していただき、おかげで無事終了することが出来ました。

会員の中には、福岡県や各市町村の災害依頼をすでに行われている会社もあったようですが、ほとんどの会社が、福岡市の災害調査に参加支援いただき、当協会の団結力を示せたと思っております。本当にありがとうございました。

今後も、災害支援に際しましては、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

## 社団法人 福岡市設計測量業協会 災害支援協力図



## 平成21年度第1回技術講習会

9月25日、博多区吉塚の(財)福岡県中小企業振興センターにおいて平成21年度の技術講習会を開催した。

技術者のスキルアップを目指すことを目的とした今回の講習会では、アセットマネジメントの勉強会を行い、設計測量で培った道路の特性を生かした、道路利用者のニーズに応えるための仕事づくりにつなげたいと多くの参加者があった。

また、基準点測量については、測量作業においてどうしても避けられない誤差をどのように処理をし、最も確かな値を求めるかの講習に数学の方程式を使った計算式を熱心に聞いていた。

講 演：Ⅰ「アセットマネジメントの為の基礎データ取得について」

講師：住友スリーエム(株)交通安全システム事業部

荒木 祐二氏

講 演：Ⅱ「歩行者事故対策について」

講師：住友スリーエム(株)交通安全システム事業部

森山 喜博氏

講 演：Ⅲ「基準点測量の厳密網計算について」

講師：元福岡国土建設専門学校教授

塩見 博志氏



▲ 道路標識の基礎知識について



▲ 基準点測量の厳密網計算

## 平成21年度福岡市との意見交換会

12月3日、中央区天神の福岡国際ホールにおいて福岡市との意見交換会を開催した。

長谷川会長の挨拶と、福岡市側からは財政局監理部の柳橋技術企画課長の挨拶に始まり、企画部会の尾川理事の進行で各部署から担当者に参加頂き、市測協の会員や非会員からの、福岡市当局への要望や提案事項をもとに、活発な意見が交わされた。

この意見交換会を通して市測協の技術力の向上を図るとともに、福岡市との意志の疎通を図ることができ、有意義なものとなった。

なお、詳細は協会のホームページに掲載しております。



▲ 柳橋技術企画課長のご挨拶



▲ 福岡市との意見交換会

## 福岡市技能功労者表彰

11月27日、中央区天神の福岡国際ホールにおいて福岡市と(社)福岡市技能職団体連合会による技能功労者・技能優秀者表彰が行われた。

当協会から、永年にわたり、測量士一筋に技能の研鑽につとめられ、その優れた才能により、地域産業の発展と市民生活の向上に貢献されるとともに、後進の指導育成などに多大なる功績をつまれたとして、(株)イズミの知識益雄氏に福岡市長より技能功労者の表彰状が手渡された。

また、受賞者を代表し福岡市長に感謝の意を述べられた。



▲福岡市長から表彰を受ける知識氏

此の度、吉田宏福岡市長より福岡市技能功労者の表彰状を拝受致しました。数多くの優れた技能者の中から、図らずも表彰の栄誉を賜りましたことは、最高の喜びであり、この感激は生涯を通じて忘れられないものとなりました。

社団法人福岡市設計測量業協会より推薦をいただき、今回受賞しましたことを、会長ならびに協会会員の皆様に厚くお礼を申し上げます。

80余年も生きてまいりますと、終戦を境に時代の様々な変化を見てまいりました。食糧や物資の不足、生活難で苦しく厳しい世の中ではありましたが、日本人の持つ勤勉さと協調性という素晴らしい底力で、急速な復興を成し遂げ、今を築いて来られたと思います。

これからも、当時の苦しさに耐え、希望を持って進んできたことを心の隅に持ちながら、健康に留意して、身体と頭が動く間は仕事に励んでまいりたいと思っております。

株式会社イズミ 知識益雄



## 協会員の近況

### 【新入会】

- |                            |       |                           |            |
|----------------------------|-------|---------------------------|------------|
| ・ メック(株)                   | 代表取締役 | 高橋 義晴                     |            |
| 〒815-0031 福岡市南区清水1丁目14番8号  |       | TEL 557-8377・FAX 557-8378 | (平成21年 8月) |
| ・ 朝倉コンサルタント(株)             | 代表取締役 | 倉掛 和俊                     |            |
| 〒815-0031 福岡市南区清水1丁目24番31号 |       | TEL 557-1800・FAX 557-1803 | (平成21年10月) |

### 【代表者変更】

- |             |       |       |            |
|-------------|-------|-------|------------|
| ・ 大正測量設計(株) | 代表取締役 | 川崎 信三 | (平成21年 7月) |
| ・ (株)実測     | 代表取締役 | 池田 慶利 | (平成21年12月) |

### 【住所変更】

- |                          |  |                           |            |
|--------------------------|--|---------------------------|------------|
| ・ (株)ジオ                  |  |                           |            |
| 〒812-0014 福岡市博多区比恵町10番1号 |  | TEL 433-1771・FAX 433-1773 | (平成21年 9月) |

### テストTIME

今回のテストTIMEはお休みします。

市測協だより37号の解答

- |            |            |              |               |              |
|------------|------------|--------------|---------------|--------------|
| ① 榆の木(ニレキ) | ② 櫻(ケヤキ)   | ③ 山法師(ヤマボウシ) | ④ 白樺(シラカバ)    | ⑤ 百日紅(サルスベリ) |
| ⑥ 石榴(ザクロ)  | ⑦ 銀杏(イチョウ) | ⑧ 棕櫚(シュロ)    | ⑨ 枝垂柳(シダレヤナギ) | ⑩ 大手毬(オオデマリ) |

正解者の中から抽選の結果、次の方に図書カードをお送りしました。

○ 大神澄子様

○ 山下隆司様

○ 深川よしこ様

多数のご応募ありがとうございました。

社団法人 福岡市設計測量業協会(市測協)会員数 正会員 82社・賛助会員 14社

平成22年1月現在

## 設計部会 41社

アジアエンジニアリング(株)	(株)アジア建設コンサルタント	朝倉コンサルタント(株)	(株)旭建設コンサルタント
エイコー・コンサルタンツ(株)	エコエンジニアリング(株)	(株)エム・ケー・コンサルタント	(株)エムテックエンジニアリング
九州コンサルタント(株)	極水設計(株)	(株)クマガイ設計測量事務所	玄洋技術(株)
五光設計(株)	(株)サンコンサル	佐藤設計(株)	産業開発コンサルタント(株)
(有)シティ・シビル・コンサルタント	(株)昭和建設コンサルタント	(株)新世コンソーシアム	(株)スリーエヌ技術コンサルタント
(株)西部技術コンサルタント	(株)総合開発計画コンサルタント	太洋建設コンサルタント(株)	(株)大陸総合コンサルタント
(株)拓研コンサルタント	(株)第一技術コンサルタント	第一総合技術(株)	(株)大建
(株)東洋技術コンサルタンツ	(株)トキワ・シビル	(株)都市計画設計事務所	都市企画センター(株)
(株)日東技術コンサルタント	西日本開発コンサルタント(株)	(有)野田土木設計事務所	(株)博多土木コンサルタント
(株)B・C・E設計	福岡建設コンサルタント(株)	(株)富士総合技術コンサルタント	(株)不動エンジニアリング
メック(株)			

## 測量部会 41社

(株)アイエスプランング	(株)アオイ	(株)イズミ	井野測量設計
(株)エイティティ福岡	榮邁測量設計(株)	榮和測量設計(株)	(株)ガイア
春日総合技術(株)	基洲測量(株)	共立設計(株)	共和航業(株)
技研測量設計(株)	(株)九州技術協力	九州測量設計(株)	九州中央測量(株)
(株)コンテック	(有)国土調査事務所	三栄測量設計(株)	(株)ジオ
島西測量設計(株)	新日本測量設計(株)	(有)セイワ測量設計	大正測量設計(株)
(株)高田工務所	(株)大高開発	大光技術コンサルタント(株)	大樹測量設計(株)
(株)タイセイ技建	筑紫測量設計(株)	(株)デヴァイス藤原	(株)トーコン
(株)豊田工務所	(株)中村測建	(株)永田測量設計事務所	西技測量設計(株)
花本測量設計(株)	(株)ヒカリ建設コンサルタント	福高総合技術コンサルタント(株)	(株)明和技研
芳野測量設計(株)			

## 賛助会員 14社

大野コンクリート(株)	(株)カクマル	(株)九コン	(株)実測
西日本建技(株)	日本乾溜工業(株)	福岡コンクリート製品協同組合	(株)福岡ヤマックス
福井コンピュータ(株)福岡営業所	(株)松尾測機	松永測機(株)	(株)水上洋行
水谷建設工業(株)福岡支店	(株)ヤマウ		

## 編集後記

「市測協だより」編集を終えて

長年にわたり、広報部に携わらせていただき本当にありがとうございました。紙面が埋まらず、どうしようかと悩んだこともありましたが、原稿をお願いした皆様が快く引き受けてくださり、無事に発行することが出来ました。

国土地理院九州地方測量部長、福岡市当局の皆様のご寄稿はもとより、会員の趣味のコーナー等でも皆様が楽しい記事を提供していただき本当に嬉しかったです。

会員の皆様に支えられてここまでやってくることが出来ましたことを深く感謝申し上げます。これからも、広報部がますます活躍され、市測協だよりが、さらに良いものとなっていくことを確信しております。

最後に(社)福岡市設計測量業協会のますますのご発展と皆様のご活躍をお祈りいたします。長い間お世話になりました。

広報部会長：竹尾 まき子